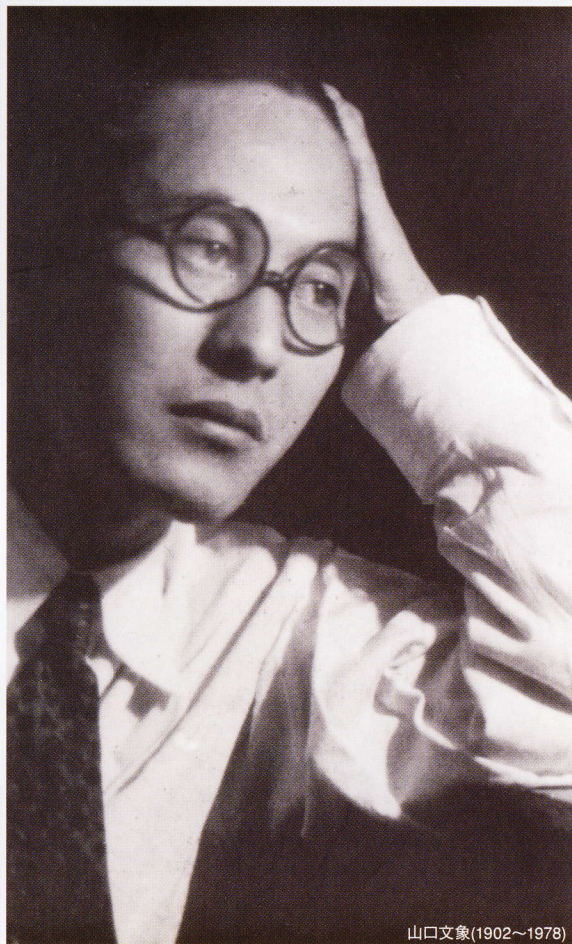


ジョサイア・コンドル (1852~1920)



ユニテリアン教会・惟一館



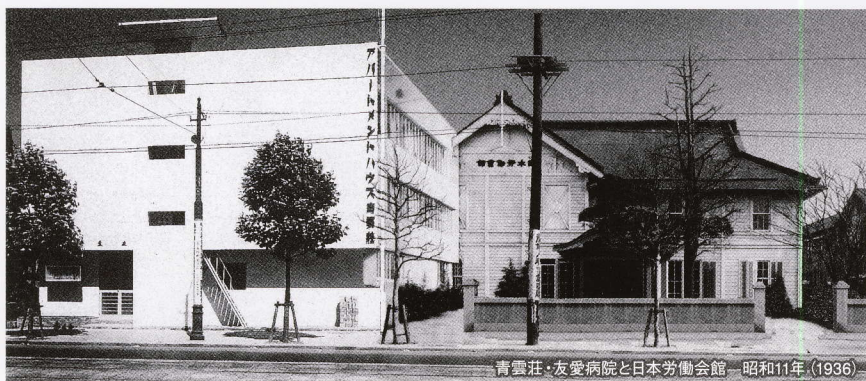
山口文象 (1902~1978)

# コンドルと惟一館

友愛労働歴史館 企画展

# 山口文象と青雲荘

期間 2014年 3月10日(月) ~ 8月30日(土)



青雲荘・友愛病院と日本労働会館 昭和11年 (1936)

友愛会館の前身は、明治27年(1894)に建設されたユニテリアン教会・惟一館であり、また昭和11年(1936)に建設された青雲荘・友愛病院です。惟一館建設から120年の今年、設計者のジョサイア・コンドルと山口文象を取り上げ、彼らが惟一館や青雲荘に込めたメッセージを読み解きます。

## 第一部 ジョサイア・コンドルと惟一館

明治27年(1894)、福澤諭吉らの招聘により来日した米国ユニテリアン協会のマッカーレイ牧師は、東京・三田四国町にユニテリアン教会・惟一館を建設しますが、その設計を担当したのが日本近代建築の父とされるジョサイア・コンドル(1852~1920)です。第一部ではコンドルの生涯と作品を、写真や解説パネルで紹介。また、惟一館の和洋折衷のデザインに込めたメッセージを読み解きます。

## 第二部 山口文象と青雲荘

昭和11年(1936)、(財)日本労働会館はアパートメントハウス青雲荘・友愛病院(現友愛会館)を建設しますが、これを設計したのは当時、新進気鋭のモダニズム建築家として知られた山口文象(1902~1978)です。1階は友愛診療所、2~3階は勤労者用のアパートで、当時、モダンな建物として評判になりました。第二部では山口文象の生涯と作品を、写真や解説パネルで紹介し、青雲荘に込めたメッセージを読み解きます。

## 第三部 惟一館から友愛会館への120年とスケッチでみる周辺風景

明治27年(1894)建設の惟一館(木造二階建)は、友愛会創立100周年の2012年に新しい友愛会館(鉄筋コンクリート16階建)となりました。第三部では惟一館から友愛会館までの120年の変遷を、写真や解説パネルで紹介。また、労働マンガやイラストで知られた重田喜孝氏のスケッチ・木版画により、惟一館・友愛会館周辺の風景を紹介します。

